指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市なかよし学園		
2 指定管理者	社会福祉法人なのはな会		
3 指定期間	令和3年4月1日~令和8年3月31日		
4 施設の利用状 3 況	《利用者数》 令和6年度 5,234人(前年度比91.2%) 令和5年度 5,737人(前年度比109.5%) 令和4年度 5,241人(前年度比92.6%) 《事業》 児童発達支援事業		
5 収支の状況	 《費用》 指定管理者に支払った費用 103,215千円 (109,186千円) その他市が負担した費用 7,000千円 (6,498千円) (収入》 使用料収入 84,935千円 (89,011千円) その他収入 0千円 (0千円) 		
6 利用者の声	《実施状況》 1年に1回保護者にアンケート調査を実施している。		

二 管理運営に係る評価(モニタリングシートの結果によって評価)

_ 二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)				
評価分野	所見	評価		
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設 運営にあたっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の特別支援学校や子育て支援機関等と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んで いる。	42/42		
Ⅲ 施設の運営管 理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。経理書類の作成及び通帳印鑑の管理についても適正に行われている。 正に行われている。 また、各種マニュアルを整備しているほか、毎月の避難訓練に加え、事故・怪我等の緊急対応 訓練にも取り組み、利用者の安全に配慮した運営に努めている。	25/25		
Ⅲ 施設・設備の Ⅲ 維持管理	清掃・衛生管理・施設の保守点検は適切に行われており、利用者が快適に利用できる環境整備に努めている。	24/24		
IV サービスの質 の向上	サービス水準を確保するため、定期的な職員会議や研修により人材育成を図るとともに、情報 共有に努め職員全体でのサービス向上を目指している。 日頃から保護者とのやりとりを大切にすることで、そのニーズを的確に把握できるよう努め、利用 者からの要望や相談に適切に対応するための体制を整えている。	27/27		
v 施設固有の基 準	個別支援計画の策定にあたっては、多職種が連携してアセスメントを行い、利用者1人1人の障害特性に寄り添ったものとなるよう努めている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4		

三 評価総括

《指定管理者	(社会福祉法)	(かのけか今)	による自己評価》
	\ TL 75 THTI 16 /	(はい)はは五/	

年長児18名、年中児14名の32名の在籍となった。3クラス編成とし児童の発達の状況を考慮した年中児年長児の混合クラスとした。4クラス中1クラスはフリースペースとし「自由あそび」や「設定保育」などで使用してきた。他クラスとの関わりも大切に取り組んできたこともあり、フリースペースやホール、園庭での活動はクラスの枠を超え遊ぶことも多くなった。行事も感染症への配慮はあるものの家族の参加者を広げ、在園児の全体活動に取り組めたことは、児童も職員も良い経験となり、保護者全員と共有できる大事な時間となった。

職員体制は主任、児童発達支援管理責任者(以下、児発管)が新しくなった。主任はクラスリーダーを兼務し、児発管も療育に入りながら職員 全体で連携しながら療育を進めてきたが、非常勤看護師体制が整わず、正規看護師1名が隣接するセンターと兼務しながら看護業務に取り組んできた。看護師不在の時期もあり、保護者の協力をもらうことも多かったが、法人内のセンターから看護師派遣を受けて対応してきた。9月には非常勤看護師が配置されやっと体制が整った。この間、医療的ケア児への対応についてはクラスリーダー1名が3号研修を受けケアの準備に取り組んできた。

地域支援については、今年度から地域相談員が新しくなり、隣接するセンターの地域相談員と連携し取り組んできたが、なかよし学園での地域支援を進めていけるよう、卒園児訪問や他法人が運営する児童発達支援センターが各区ごとに連携し活動するブロック活動、地域の保育園や認定こども園等からの相談に対する施設支援に積極的に取り組んできた。

《梅铅铅置去	(仙台市)	による評価》
		1~みる)計画//

総合評価

令和6年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。

児童の発達の状況に応じたクラス編成をし、障害種別や特性に応じたきめ細かい療育を行う工夫がなされている。また、クラスを超えての交流や、保護者も参加する活動に取り組むなど、クラスの枠を超えた活動を取り入れている。 医療的ケア児への対応については、看護師以外にも研修を受け支援体制の整備に努めた。

地域への支援としては、協定書及び仕様書の規定のとおり、地域の保育所や認定こども園などからの相談に積極的に対応した。

以上により、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。

S

四 その他特記事項(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局障害福祉部障害者支援課